

溝口白羊 はくやう 詩人、小説家、評論家。明治十四年六月五日大阪生れ、昭和二十年二月四日歿（二八八一—一九四五）。本名勲造。筆名はくやう、彩霞、溝口彩霞、溝口白羊子、白羊子、白羊生等。早稲田大學專門部法律科卒。

著書、『新家庭』、『新詩乳姉妹の歌』（明治二十九年四月、二十日春陽堂）、『新

詩源氏物語』（明治二十九年七月、二十日福岡書店）、『さくさく笛』（明

治二十九年十月、二十五日美也古書房・阪杉本書店）、『少女のさくら月』（

明治四十四年五月十三日木郷書院）、『若き女の日記』（選、明治

四十五年五月十五日岡村盛花堂）、『現代少女書籍文範』（編、大正元

年八月、二十日誠文館）、『此の陽被』（大正二年五月八日木郷書院）、

下部兼好作『譯註徒然草』（譯註、再版、大正四年一月、二十日岡村書

店）、『珠を求めて』（大正九年一月五日求光閣書店）、『明治神宮

案内』（大正九年十月、二十日日本評論社出版部）、『維新前後一熱血

史談・第一編』（大正十年四月、二十日日本評論社出版部）、『勤王状

一熱血史談・第四編』（大正十年九月十五日日本評論社出版部）、『

一リキエ作『同志物語』（抄、大正十一年六月、二十日世界思潮研究會

『世界パンフレット通信・名著梗概』（一、氏義良著『ロンドン』印

記』（白羊名、編、大正十一年六月、二十日世界思潮研究會『世界パン

フレット通信』（清少納言作『譯註枕の草紙』（譯註、改版、大正

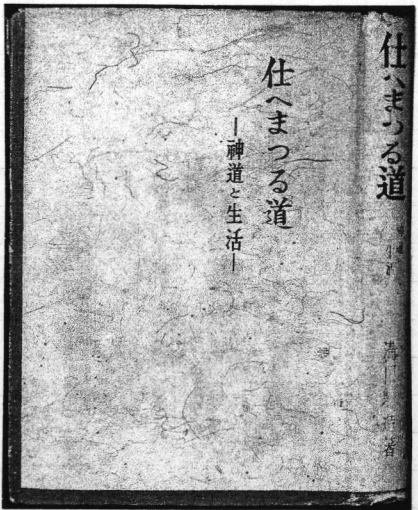
十二年二月十日河内書店）、『國難一熱血史談・第一編』（大正十四

年十一月十五日共益社出版部）、『日本古邦曲の母吟味』（本名、昭

和九年四月十日、百中文館書店）、『日本建國の研究』（同、合著、昭

和十一年十一月十日、百書堂社）、『將來の日本と滿洲の新使命』（同、

昭和十一年十一月二十五日理想社出版部）、『八十人詔勅講解』（同、
 昭和十五年四月二十八日八弘書店）、『母の宗教』（高嶋米峰共著、
 昭和十六年五月十八日婦女界社）、『母の文庫』（）、『轉換期の神道』（本
 名、昭和十六年六月一日敵愾書房）、『日本文化の性格』（同、合著
 ・司法保護協會）『昭徳』編輯部編、昭和十六年七月十五日文録社）、
 『書事誌』（同、訓註、昭和十八年六月十二日改造社）『改造文庫』（、
 『仕へまゐる道—神道と生活』（同、昭和十八年七月二十日四海書房
 『文化と生活叢書』（、『勤皇烈女』等）』（同、合著・東京新聞社
 編、昭和十八年八月二十一日建設社）等。



仕へまゐる道

仕へまゐる道

—神道と生活—